

# SOMPOケア大田定期巡回 介護医療連携推進会議 記録

開催日	開催時間
2026年 3月 18日	15 : 00 ~ 16 : 00

## ■出席者

名前	所属	名前	所属
大塚 洋之	大田区地域包括センター西蒲田	十河 洋行	SOMPOケア大田訪問看護
本多 美智子	ポラスター居宅介護支援		
坂口 真太郎	SOMPOケア大田定期巡回		
齋藤 優子	SOMPOケア大田定期巡回		
田中 千恵美	SOMPOケア大田居宅介護		

## ■審議事項

次回へ持ち越し

1 各参加者のご紹介	<input type="checkbox"/>
2 2025年 定期巡回・随時訪問介護看護 概要説明	<input type="checkbox"/>
3 自己評価手・外部評価に関して	<input type="checkbox"/>
4 本多病院との連携について	<input checked="" type="checkbox"/>
5 質疑応答	<input type="checkbox"/>
6 サービスへの評価・要望・助言	<input type="checkbox"/>

## ■記録

【定期巡回随時対応型訪問介護看護 概要説明】

(目的)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護においては、医療と介護の連携を密にし、利用者が済み慣れた地域・自宅で安心して生活を継続できるよう支援することを目的としています。  
本会議では、関係機関が一堂に会し、利用者支援に関する情報共有や課題検討を行うことで、連携体制の強化とサービスの質の向上を図ります。

(現状説明)

・利用者数推移      ・平均介護度      ・訪問回数      ・コール回数      ・随時訪問回数

(自己評価手・外部評価)

・事前に提出していただいた自己評価に対する外部評価コメントを中心に読み合わせを行った。  
・個人情報の問題から外部に情報発信する際に注意が必要であると指摘をいただく。  
・定期巡回をスタートする前のアセスメントの取り方などに高評価をいただく。

(課題)

2025年度、看護連携問題から18件新規依頼を断っている現状を課題だと思っている。  
また、大田区全体で訪問介護員の人数が足りない事と独居の利用者様の権利擁護(財産管理)などもサービスに影響を与える課題だと考えている。

(総論)

地域でソーシャルワーク的な行動を開始しないと在宅サービスの継続は困難であると考えている。その解決策の1つとして「介護医療連携推進会議」を大田区5事業所で持ち回りで開催することを継続案件として考えています。この案件の前に定期巡回サービスをスタートさせるために訪問看護連携を行えるように包括単位による赤字を補填できる環境を作らなければと考えています。

病院連携の事例を情報を共有することで、新しい定期巡回サービスの可能性を見出し他社と連携して物事を進めていくことが必要と考える。

前回と同様に高齢化の進展と在宅医療ニーズの高まりの中で、定期巡回事業者が看護・介各職種と連携を強化することは、ご利用者様の生活を守るための最重要課題であり喫緊の取り組みであると捉えています。

